

# 茨城県結城市立城南小学校（学校長 中島 健二）

|      |   |          |                  |
|------|---|----------|------------------|
| 実施日  | 平成19年12月4日（火）   | 時間       | 午前10時30分～午後1時30分 |
| 実施場所 | 体育館，各教室   | 対象/人数    | 1～6年生 503名       |
| 担当教諭 | 高橋 美智子  | ファシリテーター | -                |
| 講師   | Mr. Md. Aminul ISLAMU（バングラデシュ） Mr. Muhammad MASOOD（バングラデシュ）<br>Mr. Khanindra BARMAN（インド） Mr. Mitra BARAL（ネパール）<br>Ms. YE LI-LI（中国） Mr. DAI Ming-Long（中国）<br>Mr. Ji Zhou（中国） 以上7名JICA研修員 |          |                  |

## 活動内容

バングラデシュ・インド・ネパール・中国の言葉や生活、遊び、衣装などの違いを紹介

学年ごとにふれあい発表・ふれあい給食・外遊びタイム

## 児童の感想

・アミヌルさんとあえて、とてもうれしかったです。「フルーツはなにが好き？」ときいたら「バナナが好き」とこたえてくれました。そのときうれしかったです。ふれあいきゅうしょくのとき、みんなでいっしょにしゃしんをとりました。

・バーマンさんはせがとても大きかったです。あく手をしたら、手があたたかかったです。ドッジボールをしたとき、あてることができなかったけれど、とてもたのしかったです。またきてほしいです。

・ネパールの国旗が四角ではなくて、2つの三角形の形だということを知りました。学年発表の時、少しどきどきしましたが、がんばってできたのでよかったです。

・学年発表で「ことばは心」の群読をしました。ワールドキャラバンの方たちが、「言葉は大切ですね」といってくれました。わたしは、話す言葉はちがっても、心はみんな同じなんだなあと思いました。国の勉強のほかに、心の勉強にもなりました。

・日本語が上手だったので驚きました。他の国の人たちと交流することも大切だなと思いました。もっと他の国の人たちと仲良くしたいと思いました。

## 先生の感想

・コーディネーターの方々が丁寧に通訳や支援に当たってくださり、子どもたちも自信をもって生き生きと自分たちの発表活動を進めることができた。事前に、児童に、研修生の出身国の国旗の紹介をしたり、どのクラスで会食するかを知らせたりしたところ、インターネットや図書室等で関心や予備知識をもって臨むことができた。当日は、低学年でも興味深く集中して聞くことができた。研修生のみなさんが、自国の国旗、写真やパネル、衣装などを持参して、子どもたちに提示しな

がら説明していただいたり、質問にも分かりやすく答えてくださったりしたことがよかった。ふれあい給食では、和やかな雰囲気の中で会食がなされた。昼休みも、ボール遊びやおにごっこなどを通して交流を深めることができた。

## 成果と課題

・外国籍の児童も14名在籍しているが、彼らの国のことを知りたいという関心はあまり高いとはいえなかった。しかし、準備を通して関心が高まり意欲的に取り組むことができた。当日は、研修生の出身国のいろいろな話を聞いてから、学年ごとの発表をして、お互いの感想を発表したりすることを通して、親しみを感じ取り、子どもたちも自主的に話しかけたり積極的に働きかけたりする姿が多く見られた。児童たちは、7名の研修生たちが遠い異国から日本に来て、1年間もの長い間一生懸命研修しているということにとっても感動していた。今回の交流において、出身国のお話を聞くだけでなく、自分たちの発表を見てもらうことや、ふれあい給食において、それぞれの国の食べ物についての話題が出たりして、和やかな雰囲気の中で会食をしたことは、研修生と児童たちが深まりのある交流がもてた点でよかった。教師側も、異国の地で母国の夢の実現のために日々研鑽を積んでいる姿に深く感銘し、また励みにもなった。課題は、外国の方とふれ合う活動を多くし、それらを通して単に知識だけではなく、他の人とコミュニケーションをする力を付け、他国の文化や習慣を理解し主体的に行動できる子どもたちを育てていくことであると



考えている。